

京都工業会 ニュース

基本理念

—21世紀を担うモノづくり集団—

京都からモノづくりイノベーション

2011 No.368

第43回 通常総会を開催

5/20

5月20日(金)、京都東急ホテルにおいて、第43回通常総会が、会員100名余の出席を得て開催された。

冒頭、東日本大震災の犠牲者の方々へ黙祷を捧げた後、服部重彦会長の開会挨拶、そして山田啓二京都府知事・門川大作京都市長より祝辞が述べられ、続いて議事に入った。

当日の議案は次の通り。

第1号議案：第43期（平成22年4月1日～平成23年3月31日）事業報告及び収支決算承認の件

第2号議案：第44期（平成23年4月1日～平成24年3月31日）事業計画及び収支予算決定の件

第3号議案：役員欠員に伴う補充選任の件

第4号議案：定款の変更の案の件

第5号議案：会費規程の件

第6号議案：役員報酬規程の件

第7号議案：新公益法人移行申請の件

第1号議案については、黄瀬専務理事が事業報告全般及び決算について説明。続いて総務委員会・戸成洋二委員長、企画委員会・北川 尚委員長、技術・教育委員会・太田 稔委員長、中堅企業委員会・竹ノ内壯太郎委員長、中小企業委員会・岡本光三委員長、環境委員会・岡田弘文副委員長、広報委員会・山下文男委員長より、各委員会の開催した事業について説明が行われた。そして監事5名を代表して井上哲次監事から会計監査の報告がなされ、全員異議なく原案通り満場一致で承認された。

第2号議案については、黄瀬専務理事が主要な事業計画及び予算についての説明を行い、これまた原案通り満場一致で承認された。

第3号議案については、その選任方法について諮ったところ議長一任ということで承認され、理事5名を役員候補者として提案、全員異議なく承認された。



第4号・5号・6号・7号議案については、議長提案により一括審議を行うこととし、黄瀬専務理事が各々の議案の説明を行い、全員異議なく原案通り承認された。

総会終了後、役付理事選任理事会を開催し、常任理事6名を選任した。

《新役員》

常任理事 大柳雅利（第一工業製薬(株) 社長）

常任理事 岡本光三（(株)大日本科研 社長）

常任理事 竹ノ内壯太郎（三和研磨工業(株) 社長）

常任理事 塚本耕二（(株)モリタ製作所 社長）

常任理事 友納文隆（三菱自動車工業(株)パワートレイン製作所 所長）

常任理事 藤田正樹（大阪ガス(株) 常務執行役員・京滋地区総支配人）

理事 川口剛史（(株)日本ジョイント 社長）

引き続き、関係各機関よりご出席いただいた多数のご来賓を交えて懇親会を開催。服部会長の挨拶で開会した後、森瀬正博京都銀行代表取締役専務の祝辞が述べられ、続いてご来賓の紹介、そして新入会員（エーシック(株)、コフロック(株)、田中精工(株)、日本ソフトウェアサービス(株)）の紹介を行い、作田副会長の乾杯発声で開宴した。

その後、多くの来賓を囲みながら和やかに歓談し、片岡副会長の閉会挨拶で盛況裡に懇親会を終えた。

平成23年度（第44期）事業計画大綱

基本理念：—21世紀を担うモノづくり集団—

京都からモノづくりイノベーション

★新規事業、または一部新規事業

(1)事業活動の基盤強化・モノづくりネットワークの拡大・充実をはかる

- ★1) 会員拡大の推進……………年間
- 2) 公益社団法人の認定申請……………年間
- 3) 新春交歓会の開催……………定例
- 4) 京都工業クラブ、蔦の会、白鷺クラブの開催
……………各12回／年
- 5) 他府県産業界との交流……………1回／年
- 6) 委員会活動の活性化……………年間

(2)「モノづくりのためのヒトづくり」の更なる強化をはかる

- 1) 京都高等技術・経営学院の内容の充実……………
研究科3コース／年
ア．電子システム研究科
イ．メカトロニクス研究科
ウ．ウェルネス研究科
- 2) 生産管理・技術等研究会内容の充実強化……………年間
ア．経営管理懇話会の開催
イ．業務革新研究会の開催
ウ．技術・情報管理研究会の開催
- 3) 技術開発支援強化……………随時
ア．テクノロジー&マネジメント研究会の
開催……………13回／年
- ★イ．REACH対応特別研究会の開催…3回／年
- 4) セミナー・工場見学会の開催……………随時
ア．生産革新工場見学会の開催……………5回／年
イ．技能伝承セミナーの開催……………1回／年
- ★ウ．開発設計ソリューション見学会の
開催……………6回／年

(3)新たな産学公連携の強化による新産業・新事業の創出をはかる

- ★1) 京都産学公連携フォーラムの開催……………1回／年
- 2) 産学連携マッチング交流会の開催……………4回／年
- 3) 京都産学公連携機構との連携……………年間
- 4) (独)産業技術総合研究所との連携強化……………年間

(4)経営国際化の推進による新産業・新事業の創出をはかる

- ★1) 「2011マレーシア・インドネシア産業視察団」の
派遣……………1回／年
- ★2) 中堅・中小企業の中国進出サポート事業の
推進……………随時
- 3) アジア市場・企業の調査及び研究……………随時

- 4) 海外企業及び経済団体との交流……………随時

(5)経営革新の研究・追究によりビジネスチャンスの創出をはかる

- 1) 2011中堅企業見学会の開催……………6回／年
- 2) 2011中小企業見学会の開催……………6回／年
- 3) 中小企業技術幹部交流会の開催……………6回／年
- 4) 京都ハイブリッドテクノロジーネット事業の
実施……………6回／年

(6)環境対策の向上を通じ地域・地球環境問題へ対応をはかる

- 1) 環境マネジメントシステム
(ISO14001及びKES)の推進……………年間
- 2) カーボンマネジメントの動向調査と
研究……………年間
- ★3) 地球温暖化問題に関するシンポジウムの開催
—京都経済4団体共同事業—……………1回／年
- 4) 京都環境管理研究会の開催……………7回／年
- 5) 労働安全衛生研究懇話会の開催……………7回／年

(7)地域産業活性化事業への参画と効果的連携をはかる

- 1) 京都経済団体協議会との協調……………随時
- 2) 関係経済団体との協調……………随時
- 3) 関係行政機関との情報交換と協調……………随時
- 4) 京都産業育成コンソーシアムへの参画……………随時
- 5) 経済復興京都官民合同会議への参画……………随時
- 6) 北部地域活性化及び舞鶴港活用の支援……………随時
- 7) 青少年と科学の会への支援及び
京のエジソンプログラムの推進……………随時

(8)広報・会員サービス事業の推進をはかる

- 1) 会員企業優秀従業員の会長表彰……………1回／年
- 2) 京都工業会ニュースの発行……………5回／年
- 3) 景況等に関する調査・報告……………随時
- 4) 会員情報交換システムの拡充……………随時
- 5) 要望活動……………随時
- 6) 会員カタログコーナーの設置……………年間
- 7) 各種表彰推薦……………随時
- 8) 会員名簿・要覧の発行……………1回／年

(9)京都工業会館の円滑な運営と有効活用をはかる…年間

第43回通常総会

(敬称略)



挨拶 服部 重彦
京都工業会 会長



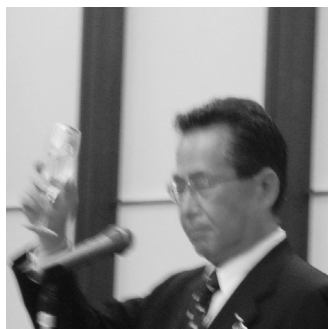
祝辞 山田 啓二
京都府知事



祝辞 門川 大作
京都市長



懇親会祝辞 森瀬 正博
京都銀行代表取締役専務



乾杯 作田 久男
京都工業会 副会長



懇親交流会



閉会挨拶 片岡 宏二
京都工業会 副会長

蔦の会、白鷺クラブ

4/7

《予告ご案内》

平成23年度 定期総会を開催

4月7日夕刻、蔦の会・白鷺クラブの平成23年度定期総会に両会員30名が出席し、東山区の「翠雲苑」において開催された。

平成22年度の活動報告、平成23年度役員の選任、更には同年度の事業計画について討議を行い、全ての議案について承認された。

〈平成23年度役員〉

代表幹事：

代表幹事：



中川 仁君
(中川パッケージ・社長)



井尾 賢司君
(井尾製作所・社長)

〈新役員〉

幹 事：中村 道一君 (NKE・社長)
〃 砂崎 達哉君 (砂崎製作所・社長)
〃 坂 栄孝君 (坂製作所・社長)

2011 マレーシア・インドネシア産業視察団

世界的大不況を克服し、新成長センターとして力強く着実に経済成長を持続する「新・新興国群 アセアン」の今後の動向が世界各国から注目を集めています。

そこで本年度産業視察団を、金融危機を乗り越え経済回復を遂げたアセアンへのゲートウェイ、有力な投資先として台頭著しいマレーシア、世界4位の人口大国、また豊富な天然資源を誇り高成長が期待されるインドネシアの両国に派遣することにしました。

近く詳細案内書をお送りしますので、ご参加をいただきますようお願いいたします。

〈実施内容〉

日 程：11月1日(火)～11月6日(日) 6日間

視察国：マレーシア (クアラルンプール他)

インドネシア (ジャカルタ他)

団 長：本会会長 服部 重彦 (株島津製作所 会長)

内 容：・行政機関等関係者訪問と懇談

・日系進出企業見学 (経営トップと意見交換)

・経済関係機関訪問 他

参加者：会員企業トップら約30名

平成23年度 会員企業優秀従業員定例表彰

～ 56 氏 を 表 彰 ～

5月13日(金)午後、平成23年度優秀従業員定例表彰が、京都工業会館にて行われた。

まず、受賞者56氏(44社)を代表して、矢田部達夫氏(明光精器(株))へ服部会長から表彰状と記念品が授与された。

続いて同会長の式辞、来賓の京都府商工労働観光部副部長 三田康明氏、京都市産業観光局商工部産業政策課課長 宮田英喜氏の祝辞の後、受賞者代表として山腰正美氏(株)日進製作所が謝辞を述べた。そして最後に、本会正副会長、来賓各位とともに記念撮影を行い、同表彰式を終えた。



〈受賞者名〉 (以下敬称略)

(株) イ シ ダ	谷川 泰正	サ ン コ ー ル (株)	山本 誠也	(株) 日 進 製 作 所	引野知代子
一 志 (株)	滝花 正明	(株) 佐 藤 製 作 所	弓指 祐二	(株) 日 進 製 作 所	山腰 正美
(株)井筒ハッ橋本舗	多田 義照	三 和 化 工 (株)	安井 幸治	日 新 電 機 (株)	岡田 孝次
(株)NHVコーポレーション	堤 良一	三和研磨工業(株)	中川 玲子	日 新 電 機 (株)	櫻井 富夫
(株)NHVコーポレーション	宮澤 敏之	(株) G S ユ ア サ	菅原 勝美	福田金属箔粉工業(株)	井村 大輔
オ ム ロ ン (株)	本田 龍司	島津エンジニアリング(株)	小国 恒博	福田金属箔粉工業(株)	坂上 善彦
尾 池 工 業 (株)	北村 能孝	島津システムソリューションズ(株)	林 伸一朗	(株) 堀 場 製 作 所	吉田 一豊
大阪ガス(株)京滋エネルギー営業部	宇野 豊和	(株) 島 津 製 作 所	関岡 馨	三菱自動車工業(株)パワーtrain製作所	井根口敬一郎
大阪ガス(株)京滋リビング営業部	門口 隆	(株) 島 津 製 作 所	八木 茂幸	三菱自動車工業(株)パワーtrain製作所	塩尻 康男
(株) カ シ フ ジ	森下 久夫	星 和 電 機 (株)	寺川 博司	(株)宮木電機製作所	山下 吉行
京 セ ラ (株)	大塚 昭一	太 平 工 業 (株)	古坂 範夫	村 田 機 械 (株)	鈴木修二郎
京 セ ラ (株)	田口 宏明	太陽機械工業(株)	中澤 真弘	村 田 機 械 (株)	馬場 健治
京都機械工具(株)	浅田 洋司	太 陽 精 機 (株)	今西 晶裕	メテック北村(株)	伊藤 明
京都精工電機(株)	林 政直	(株)大日本科研	岡崎 實	明 光 精 器 (株)	矢田部達夫
クロイ電機(株)	中村 修二	ト ク デ ン (株)	黒江 丹治	(株)モリタ製作所	高橋 繁行
月 桂 冠 (株)	野田 耕右	T O W A (株)	岡山 浩之	(株)モリタ製作所	畑 俊三
(株)ゴードーキコー	渕本 昌次	T O W A (株)	村田 浩	(株)タイヨーアクリス	吉田 稔
(株) 工 進	藤林 孝浩	(株)藤堂製作所	石原 則子	(株)KSAインターナショナル	坂根 均
サ ン コ ー ル (株)	築瀬 博文	(株)富永製作所	大蔵 浩二		

第529回京都工業クラブ

4/15

新型うつ（現代型うつ）の現状と対策について

（株）Eパートナー 社長 佐久間 万夫氏

最近増加傾向にあり、企業経営にとって緊急の課題となっている「新型（現代型）うつ病」の現状と対策について、企業の外部相談窓口として数多くの事例に接し、指導されている・佐久間万夫氏を迎えてお話を伺った。「新型うつ」とは医学的に確立された概念ではなく、人により様々な概念があるとのこと。その特徴や具体例、増加した背景、対策、企業としての基本スタンスや本人対応のポイント等を具体的に述べられ、また最近用いられて成果を上げている認知行動療法・対人関係療法についても紹介がなされた。



第530回京都工業クラブ

5/27

震災以降の金融経済情勢について

日本銀行京都支店長 渋谷 康一郎氏

昨年7月に赴任された日本銀行京都支店長 渋谷康一郎氏をお迎えし、「震災以降の金融経済情勢について」と題してお話を伺った。最新のデータに基づいた金融経済の情勢について説明がなされ、更に今後に向けて、「震災が我が国経済に及ぼす影響の不確実性は大きい、日本経済の先行きに夢を持てるような財政再建の青写真を国民に見せて行かなければならない。」と述べられた。



第531回京都工業クラブ

6/17

東日本大震災と企業の地震リスクマネジメント

清水建設（株）技術研究所次世代構造技術センター
上席研究員 奥村 俊彦氏

東日本大震災が我が国の経済・企業活動に大きな影響と教訓を与えたことから、清水建設（株）奥村俊彦氏をお迎えし、専門家の立場からこれからの企業のリスクマネジメントについてお話を伺った。東日本大震災の概要、近畿地方で想定すべき地震について説明がなされ、そしてBCPのポイントとしては、*重要業務は何か、優先度を定めること *大きな方針を決めておくこと等を挙げられた。



ゴルフ同好会 （KIG）だより

▶平成23年度第1回例会（第193回例会）

東日本大震災の影響を考慮して中止

▶平成23年度第2回例会（第194回例会）結果

と き：平成23年6月23日（木）

ところ：比良ゴルフ倶楽部

参加者：10名（内、シニア2名）

優勝 位高光司氏（日新電機（株））

準優勝 河村慎二氏（富士ゼロックス京都（株））

3 位 須河進一氏（須河車体（株））

B G 賞 武村辰憲氏（双和電機（株））

※コンペ終了後、第1回例会中止のため延期されていた総会を開催した。

夏の軽装（ノー上着、ノーネクタイ）にご理解とご協力をお願いいたします。

本会では、節電・省エネ対策として、「夏のビジネス軽装」に賛同し、取り組んでまいります。皆様にもご理解とご協力をお願いいたします。

★取り組みの内容：

- ・本会主催の会議（工業会館内で開催のもの）への軽装でのご参加をお勧めします。
- ・執務中の職員の軽装を励行しますので、ご理解の程お願いいたします。

★実施期間：5月23日～9月30日まで

訃報



森田 隆一郎 氏

（株）モリタ製作所 会長

昭和52年5月～本会理事

昭和53年5月～平成23年3月まで

本会常任理事

4月24日、ご逝去されました。

（享年75歳）

森田様には、永きにわたり本会の事業運営に多大のご貢献をいただけてまいりました。ここに、会員各位とともに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

～新規参加企業を得て、総勢226名で活動をスタート～

総合オリエンテーション

当日は、先ず12時から「技術・教育委員会と各研究会の正副主査との懇談会」を開催、研究会の運営方法や正副主査の役割などについて、意見を交換した。

その後、13時30分より総勢226名が一堂に会し、総合オリエンテーションを開催した。

冒頭、技術・教育委員会 委員長 太田 稔氏（日新電機(株)総務人事部主幹）が、「激動の今こそ、他社事例やアドバイザーの講義、演習などから各自の業務革新能力を磨いて、新たな社内B M（ベンチマーク）化へのヒントやノウハウを持ち帰って欲しい」と挨拶。

続いて研究会活動を行う上での基本事項を確認後、当事業のO Bでもある(株)堀場製作所 物流部長 吉岡喜芳氏が「これからのモノづくりに求められること」と題して講演、その後、8研究会は、それぞれに分かれ、年度方針の検討を行った。

5月から本格的な活動がスタートした。

研究会誕生の背景

研究会事業の発端は、1959年に開催された「I E研究会」という講習会にある。

これを機に講習会では解決しない管理技術面での課題を解消するための場を設置しようとの機運が強まり、島津製作所、オムロン、三菱重工業などの大手会員企業が牽引役となって、先ず、1963年に品質管理、生産管理、外注管理、作業、工作の5研究会の設置をみた。その特徴は、

①各社の第一線の管理技術者がギブ&テイクをとおして、実務上の問題解決を目指すこと

②大手企業が中小企業の管理技術者の養成に貢献することにあった。以後、50年余の歴史と伝統を刻みながら、昨年度から事業名を「業務革新研究会」に一新し、より激動の時代に対応できる内容作りを目指している。

平成22年度の方向性

「グローバルQ C D競争に勝ち残るものづくり革新力の強化」をテーマに、研究会メンバー一人一人がその業務経験と能力に応じ、1年間の到達目標を設定し、より実践的な演習等を増強していく。当面、前期・基本編（5～9月）においては、アドバイザーの指導を受けながら、

①実務の基本を再確認するグループ

②経験交流による実践研究を行うグループ



の2グループに分かれ、また、後期・実務編（10～2月）においては、両グループが合流して共通課題を研究する仕組みで1年間の活動を運営する。

平成23年度は、研究会横断的な連携事業を増加させると共に、この8研究会を基盤に幅広く内外の業務革新情報の収集、各種大会、特別講演会等の開催、マンスリーレポートの発刊など、外部に向かってもタイムリーな情報を発信していく。

各研究会の正副主査名 (敬称略)

研究会名	正副主査名・社名
品質革新 (40名)	山元光政(サンコール(株)) 安田莊司(オムロンソーシャルソリューションズ(株)) 湯浅泰伸(京都電子工業(株))
生産管理 (22名)	向井隆幸(ニチコンタンタル(株)) 堀口俊文(日新電機(株)) 岩崎秀昭(ムラテック情報システム(株))
購買調達革新 (27名)	柳谷明洋(島津メクテム(株)) 松尾毅也(株)京都製作所 八田弘之(N K E (株))
生産革新:基礎I部会 (40名)	荒川 誠(株)イシダ 名下 学(朝日レントゲン工業(株)) 岩田智寛(双和電機(株))
生産革新:JIT改善部会 (17名)	大桃敏明(株)堀場製作所 斎藤 田(株)村田製作所 井上 博(日本輸送機(株))
V E (20名)	高村公治(星和電機(株)) 木下秀昭(株)富永製作所 佐野昌洋(株)山岡製作所
生産現場リーダー力強化 (45名)	翁長 誠(株)島津製作所 荒井敏雄(株)松風 田中龍二(田中精工(株))
T P M (15名)	山田雅史(一志(株)) 浦田亮平(泉電熱(株)) 小林浩二(株)キョーテック

節電・ピーク電力抑制に対する取組みのお願い

京 都 商 工 会 議 所
京 都 経 営 者 協 会
(社) 京 都 経 済 同 友 会
(社) 京 都 工 業 会

東日本大震災による福島原発の事故により、原子力発電に対する安全対策の見直しが迫られており、関西電力においても、休止中の原子力発電の再稼働が危ぶまれている状況の中で、京都産業界としても今年夏のピーク電力（平日の昼間）抑制が必要となります。

そこで、京都経済4団体と致しましては各会員に対しまして、下記の通り節電・ピーク電力抑制に対する取組みを呼びかけることと致しましたので、ご理解・ご協力いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

記

1. 基本的な考え方

節電対策には、電力量の節減と、ピーク時の電力の抑制があります。現在問題となっているのは夏のピーク時の電力不足であり、そのための対策が求められています。そこで、京都産業界としては、次の通り目標と取組み期間を設定します。

◇目 標…ピーク時間帯の15%削減

◇期 間…7/1～9/22（8/12～8/16は除く）の平日 9～20時

2. 具体的対策

(1) 電力需要ピーク時平準化への取組み

- ・平日操業の土日シフト
- ・一部夜間操業へのシフト
- ・サマータイム制の導入
- ・お盆以外の夏期連続休暇の取得推進
- ・オフィスフロア毎の分散休暇 など

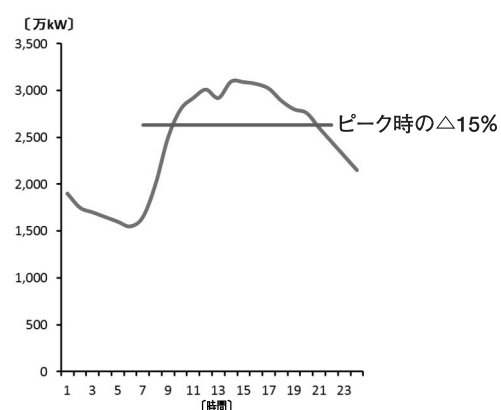
(2) 夏季における省エネ・節電の取組み

- ・適温冷房（28℃）の徹底
- ・軽装勤務（クールビズ）の奨励 など

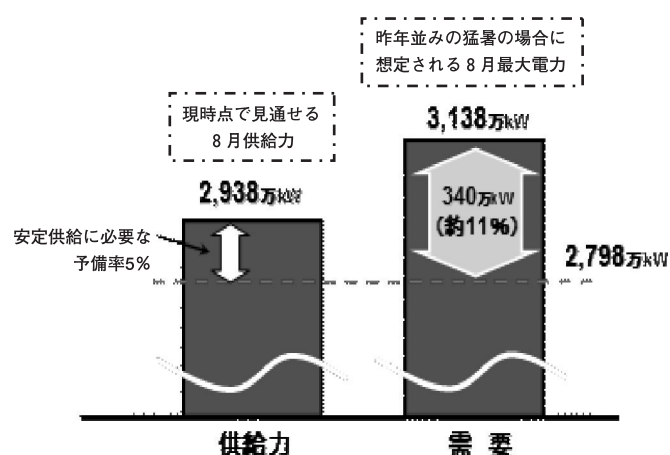
(3) 通期の省エネ・節電の取組み

- ・昼間のムダな照明や機器の省力化
- ・従業員・家族・取引先等への啓発活動 など

夏期の1日の電力需要の時間変化



夏期の電力ピーク時の需給バランス



お客さまのご協力の形（時間帯や曜日など）にばらつきが予想されることなどから、▲15%をお願いの水準とさせていただきます。

（出典：関西電力）

旭日重光章御受章の栄



顧問（前会長）

矢嶋 英敏 氏

（株）島津製作所 相談役

本年度の春の叙勲が発令され、本会顧問である矢嶋英敏氏が受賞の栄に輝かれました。
会員の皆様とともに、心よりお祝い申し上げます。

〈ご案内〉

京都経済4団体共同事業 「地球環境問題シンポジウム」

日 時：平成23年7月19日（火）13：30～16：00

会 場：ホテルグランヴィア京都

定 員：先着150名

〈プログラム〉

開会挨拶：服部重彦

（京都工業会会長、京都商工会議所副会頭、京都経営者協会副会長）

講 演：

「地球温暖化対策条例で行政は中小企業に何を求め、どんな支援を行うのか」

パネルディスカッション：

「企業の成長発展につながる環境経営への転換」

新入会員ご紹介

〈正会員〉

（5月13日、第281回理事会で承認されました。）

会 社 名	代 表 者 名	所 在 地（TEL・取扱品目）
田 中 精 工（株）	社 長 田 中 光 一	〒611-0041 宇治市横島町目川129-1 TEL.0774-25-1166 FAX.0774-24-0134 精密ダイカスト部品

外部情報

〈京都府政策企画部調査統計課より〉

平成24年経済センサス－活動調査を実施します。



- 経済センサス－活動調査は、全ての企業・事業所を対象に、平成24年2月に実施します。
- 経済センサス－活動調査は、我が国における産業構造を包括的に明らかにすることを目的とする政府の重要な調査で、統計法に基づいた報告義務のある基幹統計調査です。
- 調査を正確かつ円滑に実施するため、支社等を有する企業本社あてに6月中旬から「事業所等確認票」を郵送します。印字してある内容の確認・修正と御返送をよろしくお願いいたします。

総務省・経済産業省・京都府

「毎月勤労統計調査」に御協力をお願いします!!

この調査は、常用労働者の雇用、労働時間及び賃金の毎月の変動を明らかにすることを目的として実施しています。
調査結果は、月例経済報告、各種審議会の資料、雇用保険手当の改定等、労働経済関係の資料となる極めて重要な調査です。

この調査は、抽出調査となっています。調査対象に指定された場合は、ぜひ御協力をお願いします。

種 類	常用労働者数	調 査 期 間		予備調査	本調査開始時期
第一種調査	30人以上	37ヵ月間	毎 月	平成23年7月 ハガキによる 郵送調査	平成24年1月
第二種調査	5～29人	18ヵ月間	毎 月	毎年1月、8月 統計調査員による 訪問調査	毎年7月、1月 (予備調査の6ヵ月後)
特別調査	1～4人	1ヵ月間	毎年7月	—	毎年7月

京都工業会ニュース No.368

■2011年7月4日発行

■発行——社団法人 京都工業会

〒615-0801 京都市右京区西京極豆田町2

TEL.075(313)0751 FAX.075(313)0755

U R L : <http://www.kyokogyo.or.jp>

E-mail : info@kyokogyo.or.jp